

環境アニュアル レポート 2011

2011年3月期

目 次

編集にあたって	1
1. ごあいさつ	2
2. NECエンジニアリング概要	3
3. 環境方針	5
4. 環境マネジメント体制	5
5. 環境マネジメントシステム	6
6. 2010年度 環境目標と実績	7
7. 事業活動のマスバランス	8
8. 製品への取組み	8
9. オフィスでの取組み	14
10. 環境法令対応	15
11. 環境意識啓発	15
12. 環境コミュニケーション	16
13. 社会貢献活動	17
あとがき	18

編集にあたって

本レポートは、NECエンジニアリングが目指す「持続可能な社会」を実現するために、取り組んできた2010年度における環境経営活動実績についてステークホルダーのみなさまにご報告するレポートです。

【お願い】 本レポートは、環境負荷低減のため紙への印刷を制限させて戴いております。申し訳ありませんが、ご理解のほど宜しくお願いいたします。

[レポートの範囲]

本レポートは以下の対象期間、対象組織、対象分野における環境活動をまとめたものです。

- 対象期間： 2010年度(2010年4月～2011年3月)を中心として、同期前後の活動内容も含んでいます。
- 対象組織： NECエンジニアリング株式会社の全事業所
- 対象分野： 環境的側面

[参考にしたガイドライン]

本レポートは、下記ガイドラインを参考にして可能な範囲で記載しています。

- 環境省「環境報告ガイドライン 2007年度版」

1. ごあいさつ

3月11日(金)に発生した東日本大震災によって亡くなられた方のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被害に遭われた皆様とそのご家族の皆様にご心よりお見舞い申し上げます。

また、被災地の一日も早い復旧・復興と、皆様の安全を心よりお祈り申し上げます。

当社は、1975年の創立以来NECグループの一員として「ケータイから宇宙まで」におよぶ幅広い製品分野の開発設計に携り、そこでの開発経験を通じ培った技術を事業基盤として事業を遂行しております。

NECグループでは、環境経営ビジョン2010として、2010年度までに生産活動で発生するCO2の量と、NECグループ製品を使用することによるCO2削減量を同じにし、地球環境に負荷を与えないことを目標にし、活動を進めてまいりました。その結果、2009年度でNECグループ目標を前倒し達成することができました。これを受け、2010年度以降の新たな目標を「NECグループ環境経営行動計画2017/2030」として、「低炭素」、「生態系・生物多様性保全」、「資源循環・省資源」の3つの視点で行動計画を策定しました。

当社では、「NECグループ環境経営行動計画2017/2030」の目標に向けて、お客様への省エネルギー・環境配慮製品の提供と併行して、事業活動における省エネ/省資源活動を推進しています。

昨年度は、プロダクト製品では列車向け無線装置、官公庁向け装置などの環境配慮製品の開発に取り組み、低消費電力及び有害物質非含有の製品開発を推進しました。

また、省エネ対応ソリューションでは、高速道路に設置されている非常電話の照明をLED化した「LED非常電話ソリューション」がNEC製品の中でも特に環境配慮に優れたトップランナー製品に与えられる、エコシンボルスターに認定されました。

オフィスに於いては省エネ/省資源活動を推進し、オフィスにおけるCO2排出量の低減に努めております。

さらに従業員の環境意識向上、モチベーションアップを図るため、「環境社長賞」による優れた環境活動への功績表彰、「環境新聞」の発行など、さまざまな面で環境活動の活性化を図っています。

今後は、省エネルギーだけでなく再生可能エネルギー、蓄電池を加えた環境配慮製品の創出と、オフィスでのエネルギー使用量削減をさらに推進し、地球温暖化や東日本大震災以降の新たな環境・エネルギー社会に貢献できるよう、日々研鑽を続けてまいります。

今般2010年度の環境活動を記載したアニュアルレポートを発行しました。本レポートをお読み頂き、ステークホルダーの皆様からの忌憚なきご意見を頂ければ幸いです。



代表取締役 執行役員社長

上 河 深

2. NECエンジニアリング概要

■会社概要

商号：NECエンジニアリング株式会社
(NEC Engineering, Ltd.)

従業員：2,278名【2011年3月末現在】

資本金：3.7億円

売上高：526億円【2010年度】

設立：2003年3月(創立:1975年6月)

本社：東京都品川区東品川四丁目10番27号
(住友不動産品川ビル)

拠点：本社 / 大森事業所 / 我孫子事業所 / 玉川事業所 / 横浜事業所^(*) / 府中事業所 / 関西事業所(大阪、神戸)

*1: 2010年8月 横浜事業所を玉川事業所に移転



■事業紹介

当社は、社会と企業を豊かにするICTソリューションの提供、ICTを支える情報端末・通信機器の開発ならびに各種電子機器に用いられる、デバイス・モジュールを提供しています。

「ケータイから宇宙まで」

私たちのテクノロジーは、暮らしのすべてに関わっています。

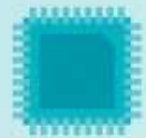
● IT・NW統合ソリューション

企業と企業、国と国、あらゆるものをつなぐ、インターネット・コミュニケーションを創出します。



● LSIの開発・設計

目に触れることはありませんが、あらゆる電子機器で使われています。



● 携帯電話や携帯電話基地局の開発・設計

お楽しみですね。暮らしに欠かせないコミュニケーション・ツールです。



● 音声会議およびテレビ会議システムの構築

人の移動にとまらぬ時間とエネルギーの削減によりエコロジーに貢献しています。



● 宇宙関連機器開発での精密なハードウェア設計と構造設計

地球規模での技術発展、そして環境保全にも貢献します。



● 衛星基地局装置のハードウェアおよびシステム設計

確実に、迅速に、安全に。世界をカバーする情報ネットワークを形成します。



● 無線・センサ技術による位置情報管理・物品管理・ビル管理ソリューション

無線やセンサ技術を融合させ、正確・安全・コスト削減の追求に努めています。



● 消防指令システムの構築

絶対に停止の件されないシステムを構築し、市民生活に「安全」をお届けします。



● 放送局向けシステムおよびソフトウェア開発

地上波デジタル放送を技術で支えています。



● KIOSK端末

図書館、公共施設、映画館などに、タッチパネルを使った情報提供端末です。



● 新聞製版装置

新聞紙面製作に、なくてはならない製品です。入力から製版・印刷まで、一貫したデジタル工程でお届けします。



NECグループビジョンとNECグループ環境経営行動計画

NECグループでは、「NECグループビジョン2017」で掲げた「人と地球にやさしい情報社会」に向けて環境面から貢献するために、「低炭素」「生態系・生物多様性保全」「資源循環・省資源」の3つの視点で「NECグループ環境経営行動計画2017/2030」を策定しました。

NECグループ企業理念

NECはC&Cをとおして、
世界の人々が相互に理解を深め、
人間性を十分に発揮する
豊かな社会の実現に貢献します。

1990年制定

NECグループビジョン2017

企業理念に基づいて、NECグループが10年後
に実現したい社会像・企業像をまとめました。
「2017」には、C&C宣言40周年にあたる2017年
に向けたビジョンという意味をこめました。

人と地球にやさしい情報社会を
イノベーションで実現する
グローバルリーディングカンパニー

NECグループ環境経営行動計画2017/2030

中期目標設定をNECグループビジョン2017と同じ2017年度、
長期目標設定を2030年度とし、以下の4点について目標を設定。

- 低炭素：社会全体のCO2削減にITソリューションで貢献
- 低炭素：製品のエネルギー効率の改善
- 生態系・生物多様性保全に向けた活動の強化
- 資源循環、省資源の推進

3. 環境方針

NECエンジニアリング(以下、「当社」)は、ITネットワークの広い領域と多様な業容にわたり、高度な技術とイノベーションを率先し、組織と人材の意欲と活力を高めて、お客様最適のソリューションを提供するとともに、人々や社会の価値を創造する責任を全うし、貢献に励みます。

事業活動において、環境配慮を念頭に環境管理システムを運用することで、地球環境保全に貢献します。

1. 当社の事業にかかわる環境側面を考慮して、次の事項を重点的に取り組みます。
 - (1) 環境配慮製品の提供
環境に配慮した製品とシステムおよびサービスをお客様に提供していくことにより、地球環境保全活動に貢献します。
 - (2) 省資源活動の推進
排出物の分別徹底によるリサイクル促進と環境配慮製品の購入推進により、省資源化と資源枯渇抑制を図ります。
 - (3) 省エネルギー活動の推進
電気を主とする省エネルギー活動を推進することにより、地球温暖化防止と資源枯渇抑制を図ります。
2. 環境マネジメントシステムを改善し、汚染の予防を図ります。
3. 環境関連法及び当社が認めたその他要求事項を遵守します。
4. 環境方針に沿った目的及び目標を設定し、定期的に見直しを行い、継続的改善を図ります。
5. 教育・啓発活動により全社員及び組織のために働く全員の環境意識向上を図ります。
6. 環境方針は、全社員及び組織のために働く全員に周知徹底すると共に、求めに応じて社外に 開示します。

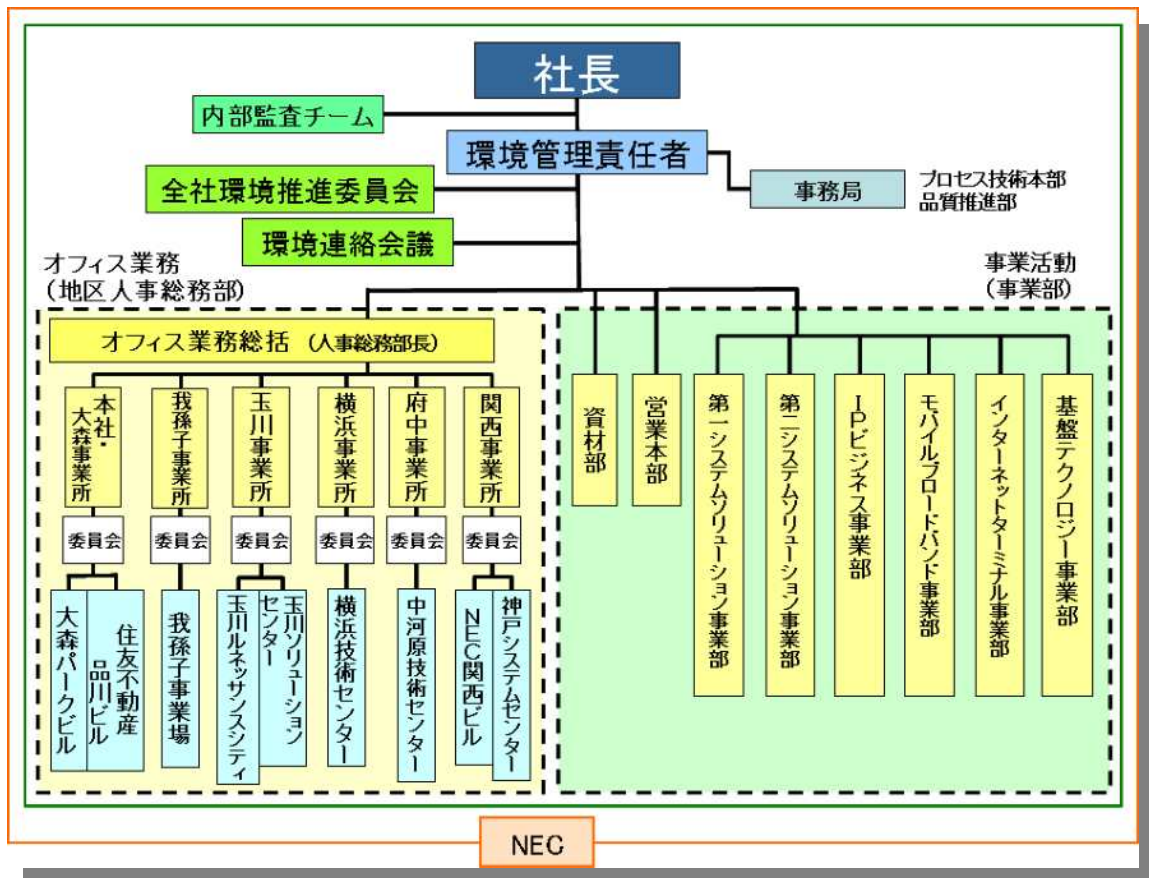
2002年11月制定

2011年 6月改定

NECエンジニアリング株式会社

代表取締役 執行役員社長 上河 深

4. 環境マネジメント体制



横浜事業所: 2010年8月 玉川事業所に移転

地区人事総務部: 社員が働く職場の環境活動(電気・紙の削減、ごみの適正廃棄)の推進を分担。
事業部: 当社が生産する製品の環境配慮活動、保守業務での環境活動の推進を分担。

5. 環境マネジメントシステム

ISO14001認証の経緯

- ・2003年3月に本社地区として認証を取得
- ・2005年度に全社(全拠点)で認証を取得
- ・2007年度にNEC環境経営監査へ移行

【登録番号 JQA-EM5952X】



NECグループ統合版
の登録証



NECエンジニアリング
のみの登録証

2010年度の主なEMSイベント

	2010年				2011年
	3月	4月～6月	7月～9月	10月～12月	1月～3月
マネージメント /環境監査	目標 設定▲	▲目標の示達		内部監査	次年度 目標の設定 マネージメント レビュー() ▲NEC環境経営 監査(代替審査)
環境行事 /環境教育 /意識啓発		環境月間 COOLBIZ 環境内部 監査員 教育		環境月間 従業員 環境教育	環境社長賞
		製品含有物質管理教育(欧州REACH規則)			
その他		横浜事業所: 玉川事業所に移転			

(): 3月予定していたが、東日本大震災対応を優先し、4月に実施。

6.2010年度の環境目標と実績

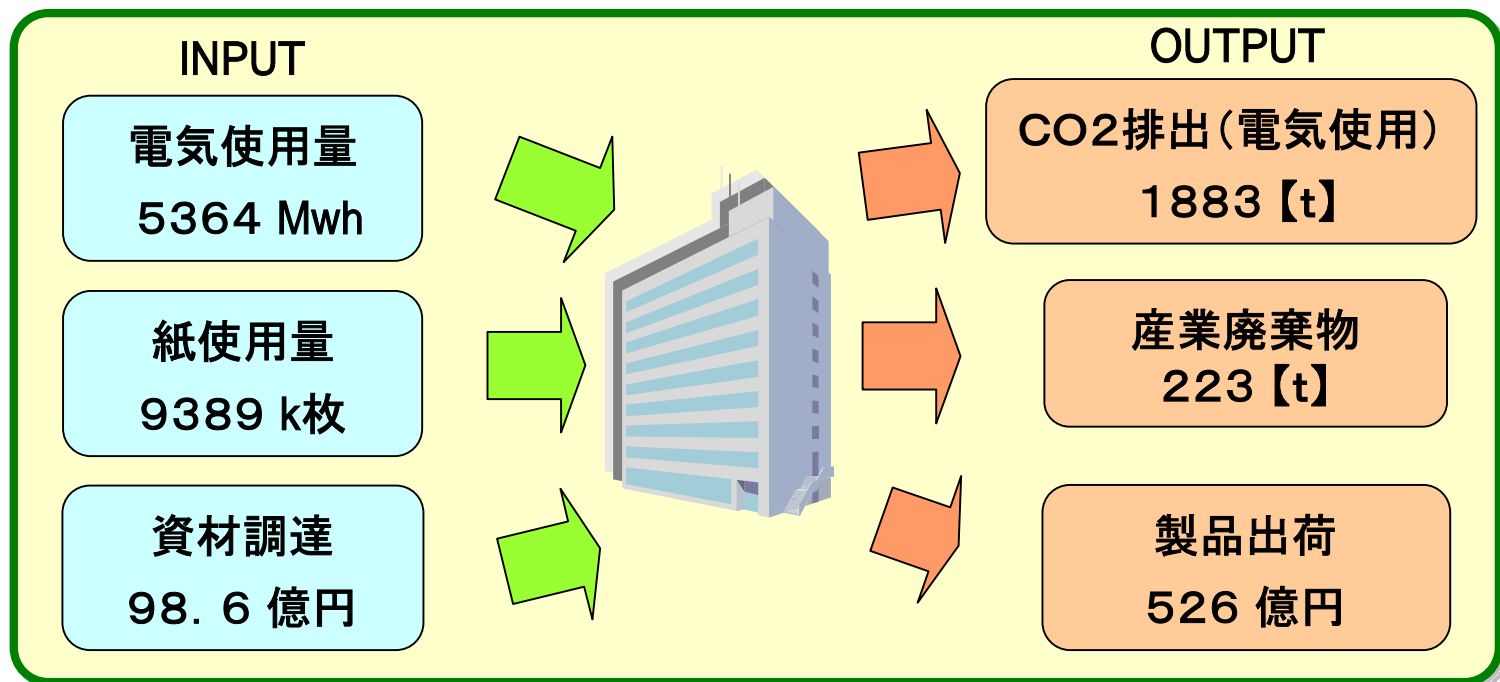
NECグループ2010年度環境活動計画(エコアクションプラン2010)をもとに、当社2010年度環境目標を設定し達成に向けて取り組みました。成果は以下の通りです。

○:目標達成、△達成度80%以上100%未満、×達成度80%未満

領域	2010年度 活動項目	目標	実績	判定
オフィス 環境改善 (省エネルギー・省 資源)	電力使用量の低減	1%以上低減 (2009年度比)	6.4%	
	用紙使用量の低減	2%以上低減 (2009年度比)	11.9%	
製品環境 配慮	新規設計製品の消費電力削減比	60%以上 (2005年度比)	63.2%	
	エコシンボル適用製品の創出	100%	100%	
	RoHS遵法違反件数	0件	0件	
	新規設計製品のRoHS適合率	100%	100%	
	グリーン調達率	100%	100%	
	エコ・アピール プロポーザル 一人当たりの件数	2件以上	2件	
	ソフトウェア製品 環境アセスメント実施率	100%	100%	
	ソフト/サービスの 環境負荷評価件数	16件以上	17件	
	通信メディア会議開催による CO2排出量削減	105t 以上	121.9t	

7. 事業活動のマスバランス

2010年度は電力使用に伴うCO2排出量(絶対値)を前年度比2.3%削減、紙使用量は前年度比11.9%削減できました。2010年8月の横浜事業所移転に伴い、産業廃棄物の排出量が昨年度より増えています。なお、不要となった物品は売却、リユースを図り廃棄物の抑制を推進しています。また、廃棄物となった物品に於いては“再資源化”を推進しました。



8. 製品への取組み

■環境配慮型製品 (ハードウェア)

(1) NEC環境ラベル『エコシンボル』製品の提供

『エコシンボル』は、NECの社内制度で、NECが定めた環境配慮基準を満足する製品に適用されます。『エコシンボル』は、国際標準機構(ISO)で定められた環境ラベルのうち、自己宣言型(タイプII)環境ラベルにあたります。

主なエコシンボル製品事例





【2011年3月末現在累計】

主な環境配慮対応	有害物質削減	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	省電力		<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>
	小型・軽量			<input checked="" type="checkbox"/>	
	省資源				<input checked="" type="checkbox"/>
登録製品数	12件 (2010年度:内2件)	8件 (2010年度:内3件)	10件 (2010年度:内4件)	1件 (2010年度:—)	
登録製品例	リモートPCパワーコントローラ IPBird-2100 	Voicepoint IP AEC-70 シリーズ 	真空テープ貼付装置 加熱式 VTL-300 	直接製版記録装置 AMZISetter-SX 	

(2)省エネルギー設計事例

製品使用時のCO2排出量低減のため、製品の消費電力低減に取り組んでいます。

省エネ製品事例 (～2010年度)

製品	環境配慮設計		
	省エネ		その他
	消費電力削減率	省エネ施策	
真空テープ貼付装置 加熱式 VTL-300 	45%	圧縮エアースリンドラ採用： 半導体製造時に、ウェハ表面に加工保護テープを貼り付ける真空テープ貼付装置では、テープ貼り付け時には従来ACサーボモータを使用していました。VTL-300では、モータより消費電力の少ない圧縮エアを用いたシリンドラを採用し消費電力を削減。	・欧州RoHS対応 ・軽量化：約20% 比較対象製品 真空テープ貼付装置 VTL-032
携帯型音声・画像配信 端末 VIcommunicator VI-10 	53%	・省電力コンポーネントを採用 ・パワーマネジメントを採用 ・入出力インターフェースの最適化 (LCD、タッチパネル、 キーボードの削除)	・欧州RoHS対応 ・軽量化：約48% 比較対象製品 RP500-1C

■環境配慮型製品（ソリューション）

(1) NEC環境ラベル『エコシンボルスター』製品の提供

『エコシンボルスター』はNECの社内制度で、エコソフト/エコサービスの中でも特に環境配慮に優れたトップランナーとして、NECが定めた自己宣言型環境ラベルの使用条件を満足したソフトウェア/サービスが「エコシンボルスター」です。

エコシンボルスター基準

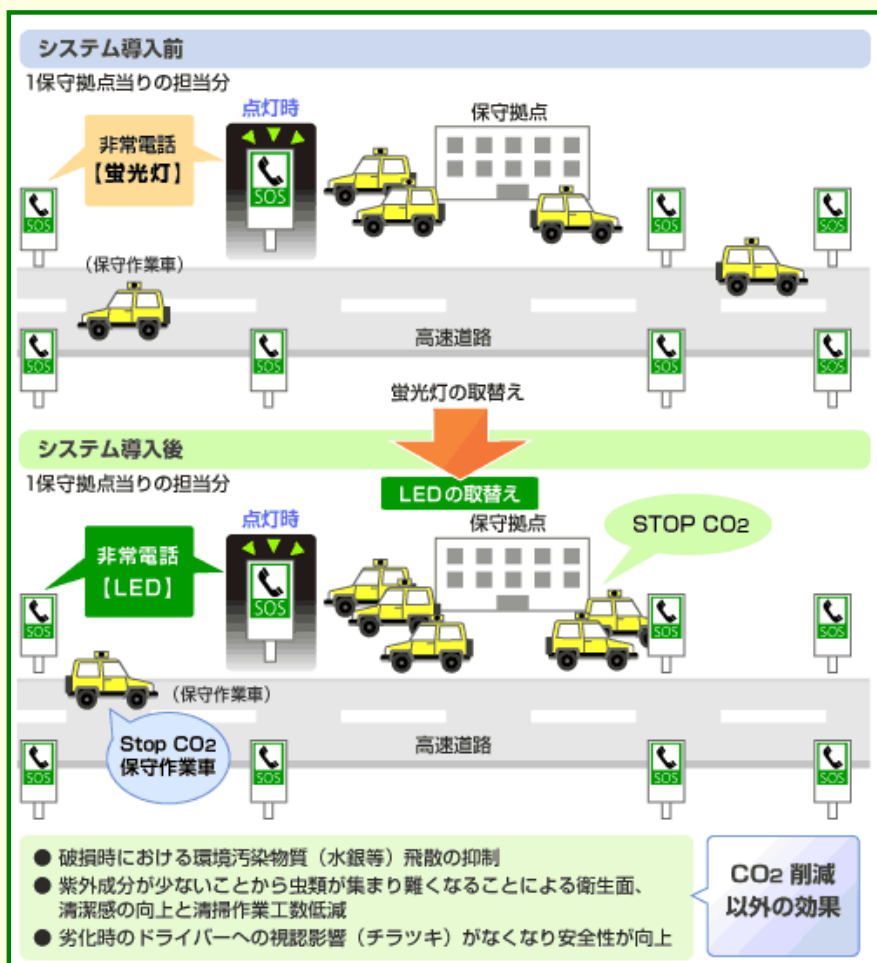
1. 先進性があること
 - ・CO2削減量50%以上、もしくは
 - ・CO2削減量1,500 t/年以上見込める
 - 又は
 - ・業界初などNECの独自技術を活用し環境負荷を低減
2. ソフトウェア/サービスの環境情報を公開



トップランナー

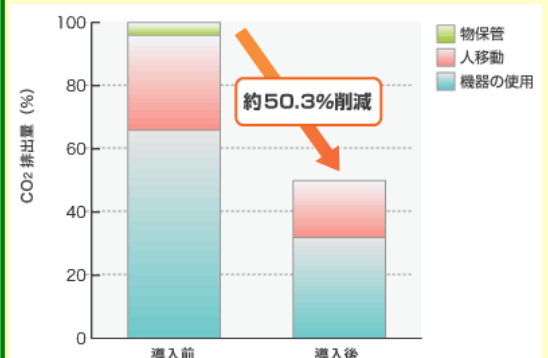
エコソフト / エコサービス

エコシンボルスター製品【LED非常電話ソリューション】



高速道路に設置されている非常電話の照明を蛍光灯からLED化することにより、消費電力低減、メンテナンスの移動距離削減によりCO2を50.3%削減

環境負荷評価結果



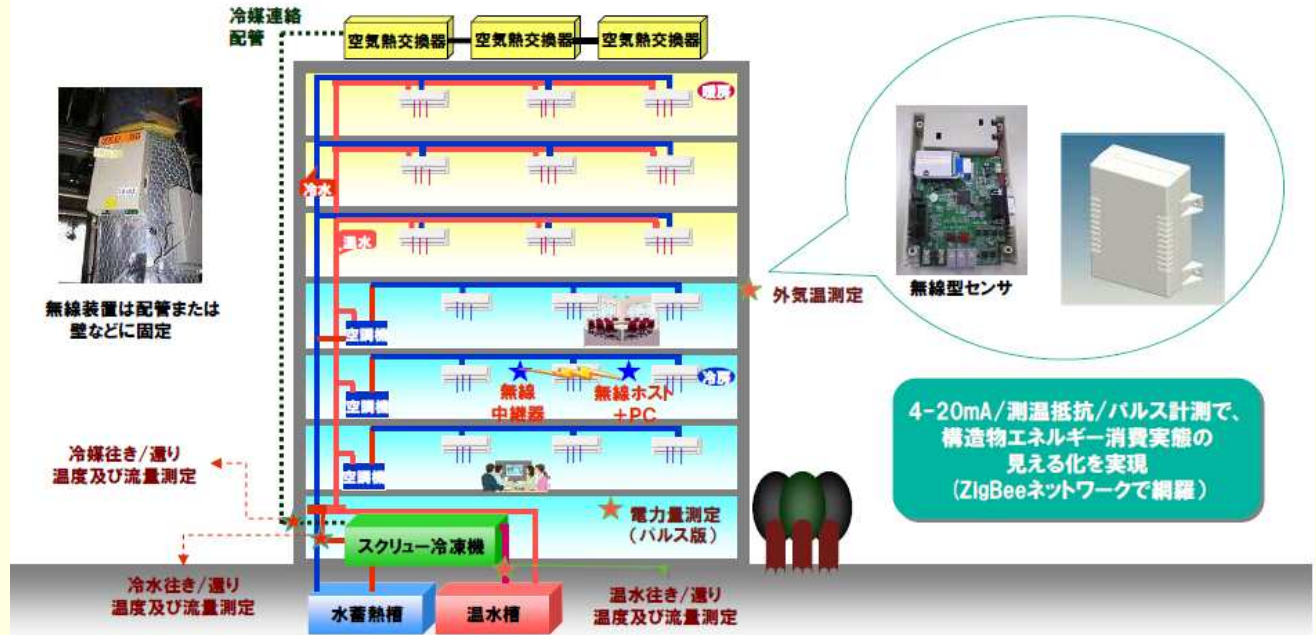
http://www.nec.co.jp/eco/ja/product/soft/2010_06.html

(2) 環境負荷低減を提供するソリューション製品事例

環境負荷であるCO2の排出量削減に効果のある、製品を提供することで、地球温暖化防止に貢献しています。

熱源廻り性能測定システム

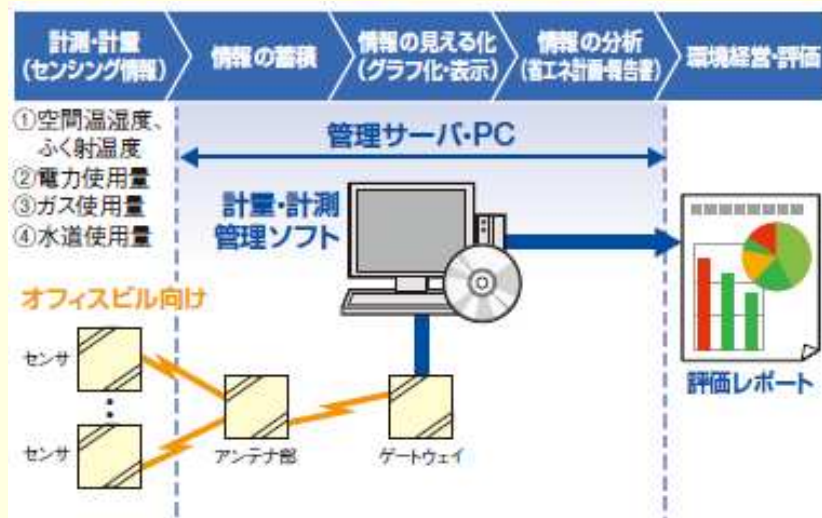
中央熱源装置を持つ建物の熱源廻りの性能測定をセンサーネットワーク(ZigBee)を活用し各種性能情報(電力、ガス、温度、流量)を容易に測定収集するシステム。
計測情報を電子データとして管理するため、エネルギー消費量を可視化、分析できる



省エネ評価ソリューション

～ オフィスビルや店舗などのエネルギー消費を「見える化」し、省エネ対策を支援 ～

省エネ評価ソリューションは、ワイヤレス・センサネットワーク技術を活用し、電力消費量や温湿度などを集中して監視するシステムと、監視を支援するソフトウェアをご提供します。現状のエネルギー使用状況を自動で収集・提供し、省エネ計画の検討・評価を効率よく実現できます。



有害物質の使用抑制

当社は、製品に含まれる有害物質の種類や使用量の把握を徹底し、使用の抑制を図っています。製品アセスメントにおいて環境法規制(RoHS指令等)項目、化学物質の削減項目を設け、法規制物質、NECグループで定めた自主規制物質(含有禁止物質および条件付き含有禁止物質)の含有状況を確認しています。また、お客様からの含有物質規制要求においても同様の対応を取っています。

◆製品アセスメントの化学物質削減項目

- ・製品・包装材にはNECグループ自主禁止物質を含まない。
- ・筐体にはPVC(ポリ塩化ビニル)を使用しない。
- ・外装筐体に使用するプラスチックに臭素系難燃剤プラスチックを使用しない。
- ・緩衝材および保護袋にはPVC(ポリ塩化ビニル)などハロゲン系樹脂やハロゲン系難燃剤を使用しない。

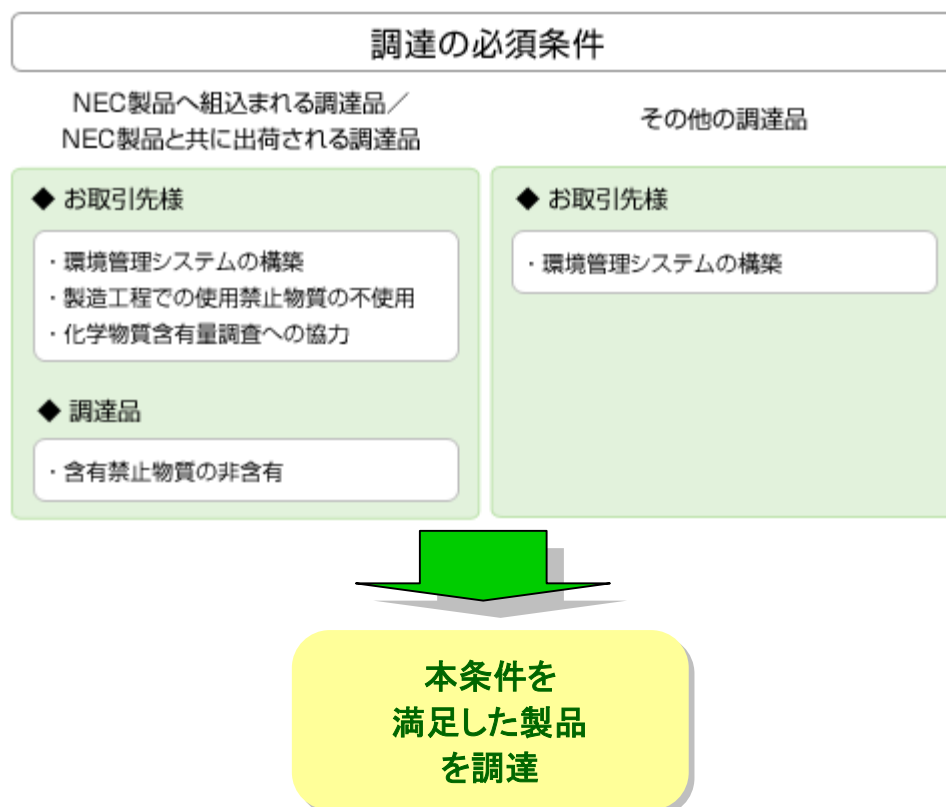
RoHS指令: Directive on the **R**estriction of the use of certain **H**azardous **S**ubstances in electrical and electronic equipment(電気電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する指令)の略。欧州で販売される電気・電子機器における環境影響物質を制限する指令。

■グリーン調達

当社では、環境に配慮された製品(ユニット、部品、材料、ソフト等)を購入するグリーン調達を100%行っています。

条件を満たした取引先について、2006年度よりグリーン認定を開始しました。また、グリーン調達を推進するため、「グリーン調達ガイドライン」を制定しています。

対象の取引先は、部材・部品のみでなく、ソフト・サービスなど無形製品も含め、全ての取引先に実施しております。



REACH規則への対応

当社は、2007年6月に施行された欧州(EU)の法規制「REACH規則」への対応に取り組んでいます。

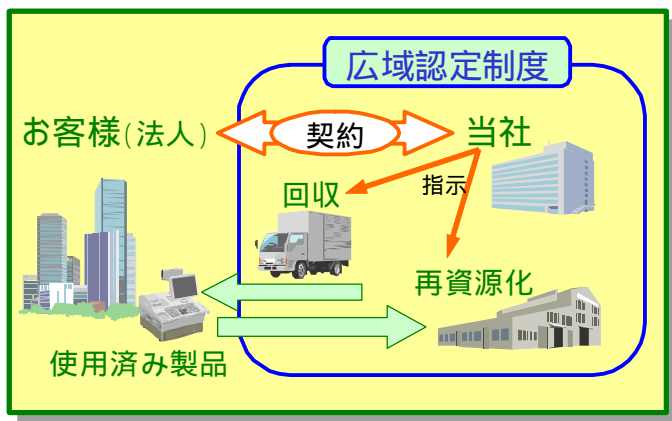
REACH規則は、製品中に含まれるSVHC情報をお客様へ伝達することを求めています。当社ではお客さま経由にて欧州(EU)に到達する可能性がある製品について、製品中に含まれるSVHC情報をお客さまにお伝えすることができるよう、管理/運用体制の強化を進めています。

REACH: Registration, Evaluation, Authorization and Restriction of Chemicals(1907/2006)

SVHC(Substance of Very High concern/高懸念物質): 人の健康または環境に悪影響を及ぼす懸念が極めて高いと考えられる物質。

広域認定制度を活用した製品のリサイクル

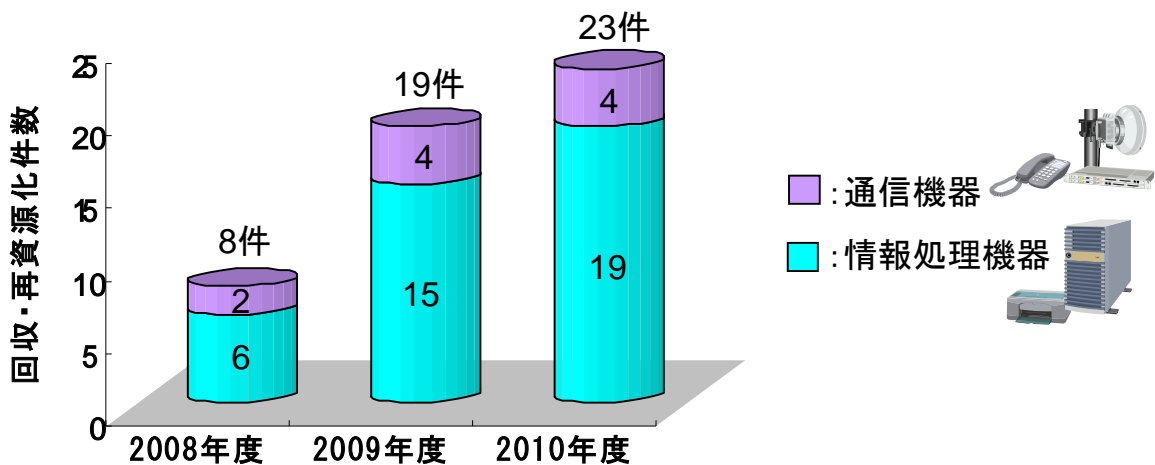
当社は、NECが環境省より認定されている「広域認定産業廃棄物処理者(*1)」の指定会社となり2008年3月から法人のお客さまから使用済みとなった情報処理機器及び、通信機器の回収・再資源化を行うことで、資源の有効活用に努めています。なお、回収・再資源化については有償とさせていただきます。



お客様説明資料 「ご契約書類の取扱い」



回収・再資源化した製品の内訳(累計)



(*1): 広域認定産業廃棄物処理者:

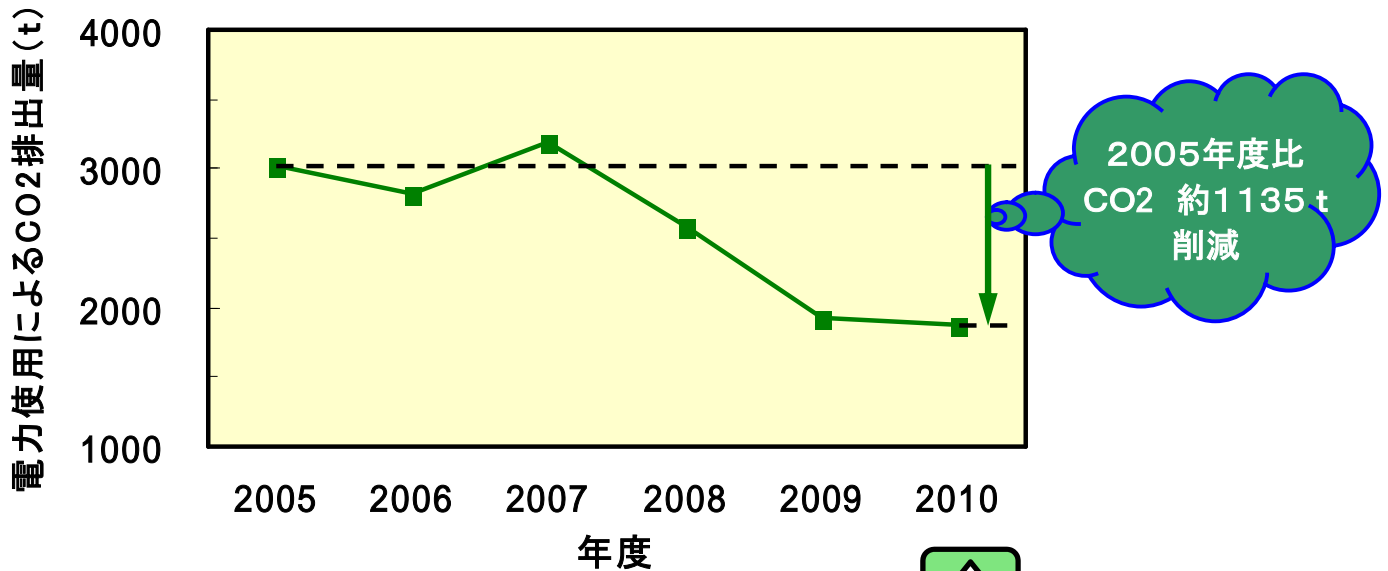
製造者が使用済み自社製品を、既存の物流システムを利用して回収再生できる資格。NECグループは2000年5月、電機関連業界で初めて本資格を厚生大臣(当時)より取得し、使用済み情報通信機器の回収・3Rの運用を実施しています。〔認定番号: 第196号〕

9. オフィスでの取組み

電気・紙使用量の削減

電気、紙使用量の削減により地球温暖化の防止、資源の有効活用を推進しています。
2010年度の電力使用に伴うCO2排出量(絶対値)は、前年度比2.3%減の約1883トンとなりました。

電力使用によるCO2排出量の推移



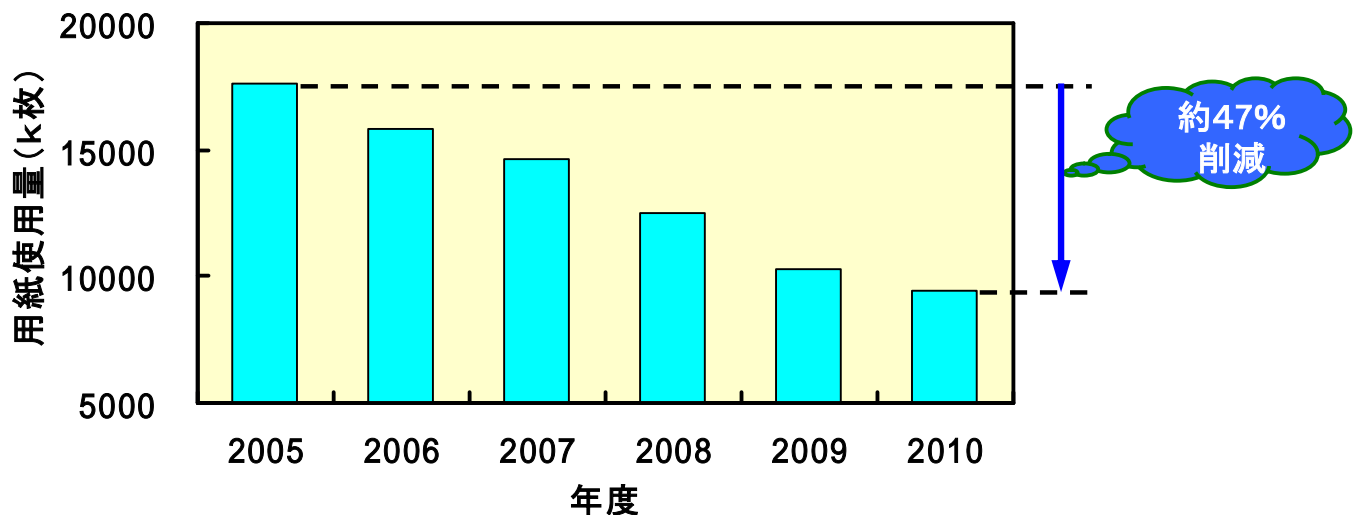
(注) 2010年度の電力使用によるCO2排出換算係数は、2009年度の実績値(電気事業連合会公表)を暫定使用して算出しております。



CO2: 1135 t は、杉の木
約81,070本が1年間に吸収
するCO2に相当します。

杉の木1本の年間平均
CO2吸収量は、約14kg。
(環境省・林野庁資料より)

用紙使用量の推移



10. 環境法令対応

廃棄物管理

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」は、当社に関連する重要な法令のひとつです。運搬/処分委託業者の許可証有効期限確認ツールによる期限切れ事前チェックおよび、マニフェストの返却確認等を行い遵法対応を行っています。

環境事故・災害・苦情への対応実績

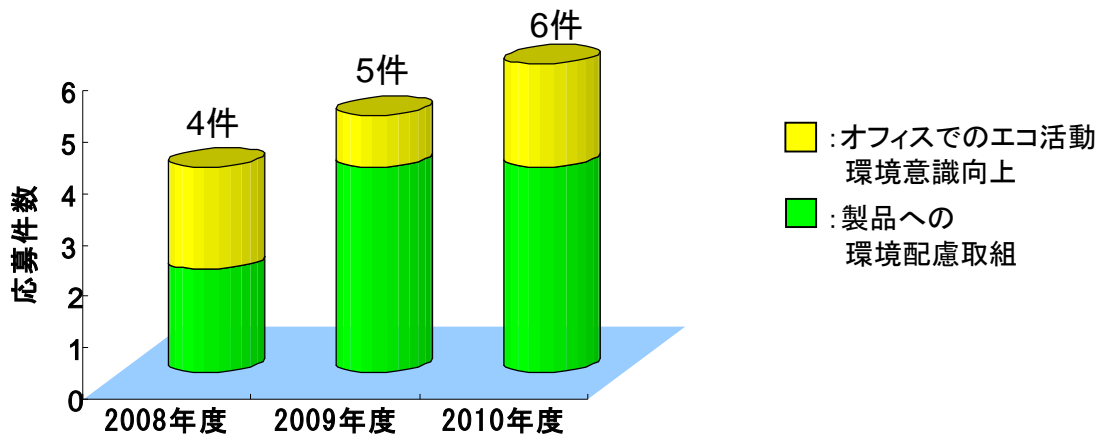
2010年度も、環境事故、災害、苦情はすべて0件で、環境に関わる罰金・料金は受けていません。

11. 環境意識啓発

環境社長賞

従業員の環境意識の向上、モラルの向上を目的とし環境に配慮したオフィス活動/事業活動、環境配慮型製品の開発などの優れた環境活動に対し、その努力を表彰する制度として2008年度に「環境社長賞」を新設し、2010年度は6件の応募があり中でも特に環境に配慮した活動として認められた4件(製品の省エネ活動:2件、オフィスでの3R活動:2件)が受賞しました。

環境社長賞の応募状況(年度別)



■従業員向け環境関連教育

従業員環境教育、内部監査員教育、産業廃棄物実務者教育、製品の環境法規制教育等をおこない従業員のモラルアップを図っています。

環境新聞の発行

従業員の“環境CSR”、“環境意識と知識”向上を目的として、2008年度から環境新聞を4半期ごとに発行しています。法令対応や環境技術等、環境活動に必要な情報を発信し、環境活動の強化を図っています。

【環境新聞の主な内容: 目標の周知展開、環境法規制の情報展開、目標実績報告、など】



■ 公的資格取得

従業員の環境意識とモチベーションアップを図り、資格取得者数を年々増やすよう促進を図っています。

	資格取得者数(累計)			
	2007年度以前	2008年度	2009年度	2010年度
CEAR登録環境審査員(補を含む)	2人	3人	3人	2人
特別管理産業廃棄物管理責任者	6人	8人	8人	8人
エネルギー管理員	1人	1人	1人	2人
環境社会検定試験(eco検定)	2人	5人	12人	25人
合 計	12人	17人	24人	37人

12. 環境コミュニケーション

■ 主な外部からの問合せ

- ・お客様からの、『環境への取組み状況調査(ISO認証取得状況、製品含有物質への取組み他)』
- ・環境省様からの、『環境にやさしい企業行動調査(環境への取組状況、ISO認証取得状況、地球温暖化防止対策、他)』
- ・一般社団法人JBRC様からの、『小型二次電池及び電池使用量調査』

■ 展示会・セミナー(事例紹介)

展示会・セミナーにおいて、省エネ製品・ソリューションの情報発信をしています。



年 月	展示会・セミナー名	主な展示製品・セミナー概要
2010年4月	セミナー スマートエネルギー・シンポジウム 2010 Spring	スマートメータやモニタ端末等のエネルギー機器をはじめ、宅内セキュリティ、健康管理等様々なセンサネットワークアプリケーション拡大に向けたZigBeeが描く将来像と現状の取り組み
2010年6月	展示 スマートグリッド展2010	スマートグリッド、特にHAN(Home Area Network)の有望通信規格の一つであるZigBeeや950MHzなどの近距離無線プラットフォームをご紹介
2010年7月	セミナー 展示 ワイヤレスジャパン2010	スマートグリッドを実現する、ZigBeeを採用したシステム構築事例について、セミナーでの紹介と近距離無線モジュールの展示
2010年11月	展示 C&Cユーザーフォーラム & iEXPO2010	スマート化を支える次世代標準規格ZigBee近距離無線プラットフォームをご紹介 省エネを実現するビルトータルソリューション
2011年3月	展示 第1回国際スマートグリッドEXPO	HEMSコーナーで、スマートグリッドやHAN(Home Area Network)で活用されている無線通信規格ZigBeeや最新モジュールなどをご紹介

■環境・エネルギー/スマートグリッドのWebページを公開

当社の環境技術を活用した、家庭やビルなどの使用エネルギーの見える化ソリューションや、無線・組み込みソフトウェア開発技術を活用した充電・蓄電システムや環境インフラ事業の紹介を掲載しています。

<http://www.nec.co.jp/solution/engsl/pro/theme/environment.html>



13. 社会貢献活動

(1) NECグループにて行っている地域社会貢献運動「NEC Make-a-Difference Drive」(MDD)に参加し、プリペイドカード、使用済み切手等収集活動でインドとインドネシアの人々の生活状況を改善する支援活動を行っています。



(2) 2010年度も引き続き、エコキャップ(ペットボトルキャップのリサイクル)活動を推進してまいりました。NPO法人「エコキャップ推進協会」様を通じてキャップをリサイクル業者様に売却、売却益をワクチン寄付団体様に寄付することで、ポリオワクチンを世界の子供たちに贈っています。



また、リサイクルすることで焼却処分により発生するCO₂の削減につながり、地球温暖化防止にも貢献しています。

・キャップ再資源化: 約350kg
 ・CO₂排出削減量: 約1,103kg
 ・ポリオワクチン: 約175人分

CO₂削減
 杉の木: 約79本 相当



・ポリオワクチン: 一人分/800個、キャップ焼却によるCO₂排出量: 3.15kg/400個
 ・杉の木換算(環境省林野庁): 50年杉一本のCO₂年間吸収量 約14kg

あしがき

NECエンジニアリング環境アニュアルレポート2011(2011年3月期)をお読みいただき誠に有難うございます。

次年度は、引き続き環境配慮製品の創出強化、環境法令遵守および、電力の供給不足に伴う節電対策を含め環境保全活動のレベルアップを図っていきます。

本レポートについて皆さまからのご意見をお待ちしております。

NECエンジニアリング プロセス技術本部 品質推進部
環境担当一同



人と地球にやさしい情報社会のために。
NECグループはCO₂排出量の削減に貢献する
製品・ソリューションを提供します。
<http://www.nec.co.jp/environment/>

IT、で、エコ
NECと
はじめよう。

NECエンジニアリング株式会社

〒140-0002

東京都品川区東品川四丁目10番27号(住友不動産品川ビル)

TEL:03-6713-1111(代表)

URL <http://www.nec-eng.co.jp>

お問合せ先: プロセス技術本部 品質推進部

発行日 : 2011年9月30日

文書番号 : EM第2011-008号



JQA-EM5952X